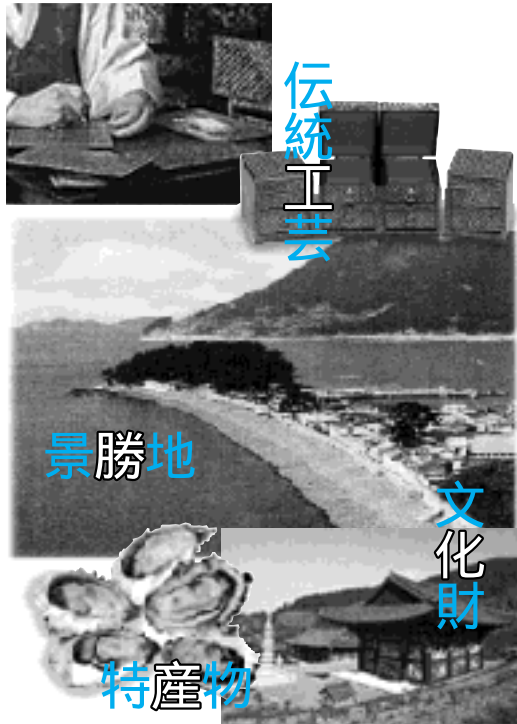


狭山市の皆さん とんよん 海と山と空の美しい統營市に ぜひ一度おいでください



REPORTER'S EYE



【リポーター】
成 定柱 スン・ジョンジュ さん
(姉妹都市・韓国統營市から行政研修のために来市。今回は、統營市と狭山市のさらなる友好交流のために、両市についてレポートしていただきました。)

私は狭山市の姉妹都市である韓国・統營市から、行政研修のために来日した成 定柱(ジョンジュ)さん。統營市は、総面積が狭山市の約5倍、人口は15万人の、海と山に囲まれた島の多い、海産物がたくさん取れる穏やかな都市です。私は統營市で海外協力担当の仕事をしていましたが、今年の6月から半年間、12月上旬までホームステイをしながら、狭山市と統營市の友好関係の増進を図るために狭山市役所で研修しています。

私が狭山市に来た主な理由は、これからの友好関係をより深いものにするため、また両市の相互理解に基づいた職員や市民同志の交流の促進のために、日本語を習得することです。来日する前に3か月間、公務員教育院という研修センターのよつな施設で日本語を勉強しましたが、やはり来日してからのほうが日常会話



先頃開催した、統營市と友好交流都市・新潟県津南町、中国・杭州市、狭山市の中学生による絵画展はNHKでもとり上げられました。

話を自然に覚えることができました。今後、統營市と狭山市の懸け橋になるよう、帰国してからも国際交流関係の仕事をするつもりです。今は、勤務時間外には狭山市の職員の皆さんにハングルを教えています。

さて、狭山市に来てから、私は市役所内のいろいろな課の業務内容を研修しました。例えば企画課では、狭山市の行政組織や総合振興計画などに関することを勉強しましたし、市民課では、統營市の本庁ではあまり対応することのない市民の印鑑登録や、住民票などに関する業務などを勉強しました。また、狭山市役所以外のところでは、韓国には競艇場がないので、戸田の競艇場を視察しに行ったりもしました。

狭山市の職員の皆さんの印象は、午後5時を過ぎてはまだ席を離れることなく、一生懸命仕事をしているので、大変熱心だと感じました。統營市では洞事務所と言って、日本で言うところの出張所が19か所あり、住民票や印鑑登録などはそこで手に入れられるので、市民が市役所に来ることがあまりありません。そこで市民への対応の仕方がどちらかと言うと官僚的になってしまい、この点がこれから統營市職員が狭山市職員の皆さんを見習って勉強すべき部分だと思いました。

統營市役所内ではパソコンが非常に多く活用されており、決裁は電子決裁で、庁内を歩かなくても資料や文書がやりとりできます。また、市民の中でもパソコンが普及していて、学生がいる家庭はほぼ全ての家でパソコンを所有していますし、市役所が主催する市民パソコン教室もあります。市内には週末に手軽に登山ができる位の山が多くあり、海もきれいで魚や特産である牡蠣(かき)などが豊富に取れます。このような自然に囲まれた市で、市民はまじめに心豊かに暮らしています。狭山市の皆さんも、韓国を旅することがあったら、ぜひ統營市にもお立ち寄りください。ソウルなどは少し趣の違う、魅力ある町ですよ。



職員を対象としたハングル教室で熱心に教える成さん。